

平成 2 7 年度中学入試

[後期 B 入試]

国語科 問題

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2. この問題冊子は、表紙を含めて 16 ページあります。

試験中に、印刷がはっきりしなかったり、ページの乱れや抜け落ちに気づいたりした場合は、手を上げて監督者に知らせなさい。

3. 解答用紙は別に配布されます。解答はすべてその解答用紙に記入しなさい。

4. 問題冊子の余白等は下書きなどに利用してよろしいが、どのページも切り離してはいけません。

[後期 B 入試] 受験番号 _____

金蘭千里中学校

① 次の文章を読んで後の問に答えなさい。

辞書編集部には、辞書の使用者からさまざまな電話がかかってくる。ア「ごしょく」を発見したとか、どうしてこの言葉が採用されていないんだとか、用件はさまざまだ。よりよい辞書を作るため、玄武書房の辞書編集部では、電話で寄せられる使用者の意見をきちんと聞き、ファイルにまとめていた。とはいえ、なかには困った電話もある。いま、岸辺が電話で話している相手もそうだ。編集部では、「へのひと」と呼ばれている。

「へのひと」は①季節の変わり目——つまり、春と秋——になると、毎日のように電話してくる。突如として、②助詞「へ」の用法が気になってしまいうらしい。だれかと話していても、新聞を読んでいても、「へ」が気になる。

助詞「へ」は、言うまでもなく使用頻度が高い。ふだんはなんの気なしに使っているが、気になりだしたら際限なくαとβにつくことになる。「へのひと」はそのたびに、「この場合の『へ』は、『玄武学習国語辞典』の『へ』の語釈の、何番にあたるのでしょうか」と電話してくるのだった。「何番だって知ったことか」と答えたいところだろうが、岸辺は辛抱強く「へのひと」の相手をしていた。どうやら、あけぼの製紙の宮本とつきあいだしたようだから、仕事へのいよくもいままですらに高まっているらしい。

「『月へ向かうロケット』の『へ』は、方向を示す『へ』ですから、語釈の(1)ですね。え？『実家へ着いたら、母に怒られた』の『へ』ですか。うーん、それは……。語釈の(4)だと思います。はい、『差し迫ったニュアンス』を含んだ『へ』ですね」

岸辺は断言しているが、馬締は内心で、「いえ、それはどうでしょう」とウいぎを唱えた。「実家に着いたところへ、宅配便がきた」といった文章であれば、語釈の(4)「差し迫ったニュアンスを含む」に適合すると思うが。馬締はちよつと考える。

「実家へ着いたら、母に怒られた」の「へ」は、語釈の(2)「動作や作用が帰着するところを示す」意味で使われているのではないか。

③ うん、やはりそうだ。

正しい答えを伝えなければと、馬締は席を立ちかけた。そこへ、手洗いに行っていた松本先生が戻ってきた。編集部を見わたした松本先生は、状況をエさつちしたのか、座るようにと馬締に手で示す。

「④岸辺さんに任せておけば大丈夫ですよ」

「しかし岸辺さんは、誤った回答をしているようです」

「『へのひと』は、辞書編集部員と一緒に答えを考えてくれれば、満足なさるのです。まじめさんが電話を代わって、べつの答えを言ったら、オこんらんされるでしょう」

そういうものかと、馬締はもとどおり椅子に尻を落ち着けた。松本先生も隣に座り、再び「注1」四校の確認作業をはじめ。

松本先生の横顔を見て、馬締は心配になった。なんだか顔色が悪いし、このごろ少し痩せたようだ。もともとから5のように細いひとなので、変化はごくわずかなものだったが。

「先生、お疲れなのではありませんか」

時計を見たら、六時をまわっている。松本先生は、今日は朝から編集部に詰めていて、昼食もろくに摂っていないはずだ。

「今日はここまでにして、よろしかったら、どこかで夕ご飯をいかがでしょう」

馬締が誘うと、先生はようやく赤鉛筆をおき、校正刷りから顔を上げた。

「ありがとう。しかしまじめさんは、このあと作業をつづけるのではないですか」

「大丈夫です」

たしかに、終電まで仕事をするつもりだが、いずれにせよ夕飯は食べなければならない。馬締は椅子にかけてあった背広の上着を取り、ポケットに財布が入っていることをたしかめた。

「なにか召しあがりたいものはありますか」

松本先生に問いかけながら、机に出してあった筆記用具の片づけを手伝う。使いこまれた革製の筆箱に、先生はゆつくり鉛筆や消しゴムをしまった。

「一日じゅう座っていたから、あまりおながが減っていないようです。そばはどうですか」

「はい。では参りましょう」

馬締は先生の鞆を持ち、「ご飯にいきます」と学生アルバイトに声をかける。「いってらっしゃい」というアルバイトの面々の声に送られ、馬締と松本先生は編集部を出た。まだ電話中だった岸边は、松本先生に会釈し、馬締に向かって軽く手を振った。「へのひと」の助詞に対する 6 は、な おも燃えさかっているようだ。

先生はこれまたゆつくりと、別館の薄暗い階段を下りた。

年を取られたな。寄り添って足を運びながら、馬締はふいに思う。それも当然だ。はじめて先生と会ってから、もう十五年ほどが経った。初対面のと き、すでに老人だった先生は、いったいいくつになったのだろう。

早く『大渡海』を完成させたい。あと一步のところまで漕ぎつけたからこそなのか、⑦馬締のなかに強い焦燥が生まれていた。早くしないと、まにあわない。そう考え、「なににまにあわないんだ、縁起でもない」とあわてて打ち消す。

松本先生の鞆は資料が詰まっているのか、あいかわらず重い。こんな鞆を持って玄武書房まで通えるぐらいだから、充分に元気だと言えるだろう。とはいえ、これまでの先生だったら、夕飯に『七宝園』の中華料理をリクエストするところだ。

馬締が夕食後も会社で仕事をすると思し、X ものを、と先生は遠慮したのかもしれない。もしかしたら、Y のかもしれない。探るような馬締の視線を感じたのか、先生は困ったように笑った。踊り場で足を止め、軽く呼吸を整える。

「やはり年には勝てませんね。最近、A少し歩くと息切れがするのです」

「出前にしましょうか」

「いえいえ、あとは帰るだけのわたしが、みなさんの作業の邪魔になつてはいけません。B外の空気も吸いたいですし」

先生は再び階段を下りはじめた。「C今年は夏バテがあとを引いてねえ。しかしまあ、涼しくなってきましたから、じきに体力も戻るでしょう」

玄武書房の別館を出て、神保町の交差点方面へ向かう。先生の言うとおりの吹く風にはもう夏の名残すらない。夜が来るのが早くなった。D銀色の大きな星が、空の高い場所で輝いている。

行きつけのそば屋では、Eサラーマン風の客が何人か、手早く腹ごしらえをしていた。おかみさんは心得たもので、馬締と松本先生をテレビの見やすい席へと通した。ついでにリモコンでテレビの音量も上げてくれる。松本先生への配慮だ。先生はいつも、食事のあいだも用例採集カードを手放さず、テレビから流れてくる言葉に耳を傾ける。

この店のメニューはそらんじられるほどだから、馬締も松本先生もお品書きを眺めることはない。

「先生、お飲みになりますか」

「いや、今日はやめておきます」

やはり、体調が悪いのか。常の先生ならば、二合の熱燗を楽しまれるはずなのに。

「今週は、すでに家で晩酌をしてしまったので」

先生は飲まない理由をそう説明したが、馬締は心配を通り越して

8

になった。

ちようにどやってきたおかみさんに、馬締は力うどんを、松本先生はとろろそばを頼む。

「⑨しかしまじめさんも、立派な大人になりましたね」

注文が済むと、先生は馬締に向き直って言った。「あれこれ気をつかってもらって、申し訳ないです」

先生に出会った当時から、俺は大人だったのだが。馬締は怪訝に感じたが、そういえば俺は、ビールの一杯もまともにつげなかったのだけ、と思う出す。

辞書編集部にかいどうになったばかりのころは、どうやって作業を進めたらいいのかもわからず、人間関係もスムーズには行かなくて、⑩目隠しで迷路を進むような心持ちだった。

それがいまでは、『大渡海』編纂のキじつむ面は、すべて馬締の采配ひとつにかかっている。のべ五十人を超える学生アルバイトに指示を出し、連日のように宣伝広告部や営業部との会議をこなすかたわら、校正刷りにせつせと修正を入れる。部下の岸辺に、仕事を教えることだってある。まるで、最初から辞書編纂の「注2」エキスパートだったような顔をして。

「まだまだいたらぬところだらけです」

馬締は気恥ずかしくなり、運ばれてきた熱いお茶を飲んだ。

〔注1〕四校：四回目の校正（原稿や原資料などつき合わせて、文字や図版のあやまりをただすこと）。

〔注2〕エキスパート：その専門性について特にすぐれた才能・技術を持ち、かつ発揮できる人。

(一) 太字部アゝキのひらがなを漢字に直しなさい。

ア ごしよく イ いよく ウ いぎ エ さつち オ こんらん カ いどう キ じつむ

(二) 傍線部①「季節の変わり目」とあるが、この場面でこの「季節の変わり目」が感じられる表現を、次のA～Eの中から二つ選び記号で答えなさい。

A 少し歩くと息切れがするのです B 外の空気も吸いたいですし C 今年は夏バテがあとを引いてねえ

D 銀色の大きな星が、空の高い場所で輝いている E サラリーマン風の客が何人か、手早く腹ごしらえをしていた

(三) 傍線部②「助詞「へ」の用法」とあるが、次のアゝオの用例は、後の語釈の(1)～(4)のそれぞれどれにあたるか。番号で答えなさい。（同じ番号を何度使ってもよい）

【用例】 ア 風呂に入ったところへ電話がかかる。 イ 北へ行く列車を見送る。

ウ お小遣いの値上げを母へ頼む。 エ 台風は東へ進路を変えた。

オ 富士の頂上へたどり着く。

【語釈】

(1) 動作や作用の向かって進む目標地点や方向を示す。(2) 動作や作用が帰着するところを示す。

(3) 動作や作用の働きかける相手を示す。(4) 事の起こった場面を、差し迫ったニュアンスを含めて示す。

(四) 空欄α、βには、体の部分が入る。それぞれ漢字一字ずつで記しなさい。

(五) 傍線部③「うん、やはりそうだ」の、ここでの意味として最も適切なものを次のアゝオの中から一つ選び記号で答えなさい。

ア やはり「へのひと」には、困ったものだ。 イ やはり語釈の(2)の意味で使われている。

ウ やはり正しい答えを言うべきだ。 エ やはり岸辺くんには任せておけない。

オ やはり松本先生に助言をおおぐべきだ。

(六) 傍線部④「岸辺さんに任せておけば大丈夫ですよ」とあるが、それはなぜか。最も適切なものを次のアゝオの中から一つ選び記号で答えなさい。

ア 岸辺さんが、話しているうちに自分の間違いに気付き「へのひと」にそれを伝えるはずだから。

イ 岸辺さんは、この編集部でも経験豊富で、誰よりも苦情処理には向いているから。

ウ 岸辺さんは、「へ」の助詞の用法をよく知っていて、この件については一番信用できるから。

エ 岸辺さんが、「まじめさん」と電話を代わると、次回からは信用されなくなるから。

オ 岸辺さんが、疑問に誠実に対応しているのは「へのひと」にも伝わるはずだから。

(七) 空欄5、6、8に入る最も適切な言葉を、次のア～オの中からそれぞれ一つ選び記号で答えなさい。

- | | | | | | |
|---|-------------------------------|------------------------------|----------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 5 | ア 鴨 <small>鴨</small> | イ 燕 <small>つばめ</small> | ウ 鶴 <small>つる</small> | エ 鶏 <small>にわとり</small> | オ 鳥 <small>からす</small> |
| 6 | ア 執着心 <small>しやくちやくしん</small> | イ 探究心 <small>たんきゆうしん</small> | ウ 不信心 <small>ふしんしん</small> | エ 向上心 <small>かうじやうしん</small> | オ 親近感 <small>しんしんかん</small> |
| 8 | ア 不安 | イ 焦り <small>あせ</small> | ウ 困惑 <small>こんわく</small> | エ 怒り <small>いかり</small> | オ 諦め <small>あきらめ</small> |

(八) 傍線部⑦「馬締のなかに強い焦燥しょうそうが生まれていた」とあるが、それはなぜか。最も適切なものを次のア～オの中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 完成まであと一步のところまでは来ているが、どうしても松本先生の生きていうちに完成させたいから。
- イ 完成まであと一步のところまでは来ているが、ここで「もう大丈夫だ」と油断してしまうと大きなミスをおかすかもしれないから。
- ウ 完成まであと一步のところまでは来ているが、今回の苦情電話などで編集作業が大幅に遅れることもあるから。
- エ 完成まであと一步のところまでは来ているが、のべ五十人もいる学生アルバイトに指示を徹底させるのは難しいから。
- オ 完成まであと一步のところまでは来ているが、この辞書の編集責任者としていつも「早くしないと」と思い続けているから。

(九) 空欄X、Yに入る表現の組み合わせとして最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選び記号で答えなさい。

- | | | | | |
|---|---|----------------|---|--------------|
| ア | A | あまりお金のからない | B | 本当に具合が悪い |
| イ | A | あまりお金のからない | B | 本当に早く帰りたい |
| ウ | A | あまり時間を取らない | B | 本当にお腹が減っていない |
| エ | A | あまり時間を取らない | B | 本当に具合が悪い |
| オ | A | あまり遠くまで行かなくていい | B | 本当にお腹が減っていない |

(十) 傍線部⑨「しかしまじめさんも、立派な大人になりましたね」とあるが、これはどんな意味か。最も適切なものを次のア～オの中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 真面目だけが取り柄だった頃と違い、今では他人のアドバイスも受け入れて苦情電話の処理も部下に任せられる人になったということ。
- イ 人間関係で悩んでいた昔とは比べものにならず、今では部下やアルバイトに指示を出すエキスパートになったということ。
- ウ ビールのつぎ方もわからなかった頃とは違い、食事の際にはうまくお酒を勧められるようになったということ。
- エ 人付き合いが苦手だったのに、今では他人の体調を考えて、あれこれ気配りができる人になったということ。
- オ 辞書編集部に来た頃とは違って、今では部下だけではなく顧問的な立場の自分からも一番信頼されるようになったということ。

(十一) 傍線部⑩「目隠しで迷路を進むような心持ち」と同じ意味で使う四字熟語を、解答用紙の空欄に漢字三字を補って完成させなさい。

② 次の文章を読んで後の問に答えなさい。

Xネットの論理を理解し、そこでの情報発信に精通したサラリーマンがいる。それは生活日用品メーカー、エステー株式会社特命宣伝部長の鹿毛康司氏である。鹿毛氏は同社の「注1」執行役員でもあるのだが、いや、それだけの地位があるからできるのか、実に自由にネットで情報発信をし、人々と交流している。そして、そこから仕事に発展させている仕事人でもある。

2011年3月、東日本大震災後、関東以北のテレビCMは軒並みACジャパン（旧・公共広告機構）のCMだらけになった。乳がん・子宮頸がんの啓発CMに加え「ポポポポーン」とハイタッチする子どもが登場する「あいさつの魔法」などを覚えている人も多いだろう。ACのCMは、何らかの事情があった場合に枠を押さえていた広告主がそこで放送をしないことを決定したときに登場する。通常は（広告主に関する）「注2」不祥事が起きた場合に流される場合が多い。以前、ACに確認したところ「様々なケースがあり、不祥事（の時）だけではない」と回答されたが、広告業界人としては、「不祥事の時のサシカエ素材」の意識があるのは間違いがない。不祥事報道があった時にA売らんかなの呑気なCMを出し続ければ叩かれることは確実だからだ。

当時は、あれだけの大災害でしかも福島第一原発事故まで進行中のなか、とてもではないが普段通りのCMを流すような社会状況ではなかった。だからこそ、多くの企業が公共性の高いACにさしかえたのだ。もちろんCM料金を払うのは元々その枠を押さえていた企業である。テレビCMは時にアしやうんをかけて「注3」出稿するようなこともあるほど、重要なものだ。いわば①泣く泣くの「横並び大自粛」だった。

この頃はネットでも、少しの贅沢をするだけで叩かれるような空気が充満していた。たとえば、乙武洋匡氏は「お酒を飲みに行きたい」という内容を「注4」ツイッターに書いたところ「②「だ」と叩かれた。普段の生活をちよつとつづるだけでも、「家を失って避難所生活をしている被災者の生活を慮れ！」③「だ！」と批判されるようなありさまだった。一個人でさえ、こうして「横並び自粛」の渦にのまれていたわけだ。サザンオールスターズも大ヒット曲「TSUNAMI」を歌える状態ではなくなった。であれば客商売をしている企業はなおさら、気を遣ったことだろう。

そんな状況だっただけに、ACのCMだらけのテレビは4月になっても変わらなかった。だが、震災から1ヶ月以上が経過すると（それも）批判の対象になりかける。「ACの放送回数が多過ぎだ！」というのは、実際多くの人が思っていたことだろう。他方で「東北の食材を食べて応援」や「被災地で消費」といったかけ声も出ており、そろそろ④通常運転に戻ってもいいのでは……という声もあるにはあった。

問題は、誰がその先頭を切るのか、だった。当時の広告業界では「他の会社の様子も見て……」というB日和見主義でCMを流すかどうかの判断をしていた。広告代理店の営業マンイどうしが会ったら「いつ元に戻しましょうかね」と相談し合う姿も見られた。

そして4月20日、エステーがついにCMを流す。

外国人の少年が丘を背景に「ラーラーラー」と歌う。少年はどこか悲しげな表情をしており、ただ歌っているだけである。そして、最後に「ショウ、シュー、リキ」と日本語で歌い同商品の「注5」ロゴと商品写真が登場。続いておきまりの「エステー」の「注6」サウンドロゴとともに⑤同社のス

ローガンである「空気をかえよう」の文字が出た。

これは大反響を呼んだ。重い空気が流れる中、何やら悲しげなCMが始まったと思ったら最後に「消臭力」という消臭剤の宣伝であることが分かり、人々はズッコケたのだ。⑥「ホツとした」という反応も多かった。

前述の鹿毛氏は、このCMを流した意図を「日常に戻ろう」だったと話した。ニュースサイトに掲載されたインタビュー記事で次のように語っている。

「このCMでは震災に全くふれていません。今は何を流しても『C偽善だ!』となってしまう。それは仕方ありません。いくら応援コメントを出そうがCMしている時点で偽善にはなる。だからこそ『偽』の幅を極力小さくする必要があります。今回のCMは震災後に撮影したのですが、当然企画は当初のものから変わっています。ただし制作陣から『私たちは今まで通り視聴者を笑わせなくてはいけないし、⑦内容もど真ん中ではなく、はずさなくちゃいけない』です。それでメッセージを送る。これがエステーの文化ですよ」と言われたのです」(2011年4月20日)。

そして震災で傷ついた人の心を乱さぬよう当初の企画を変更するも「日常に戻ること」の重要性を以下のように語った。

「消臭力の歌を堂々と歌う。ここで言いたいのは『⑧』ではなく『⑨』ってこと。多分これが震災から1ヶ月経ち、被災者以外のテレビを見ている・買い物をする人ができる人に向けたメッセージであるべき」(同)

ちなみにCMは1755年に大津波の被害にあったポルトガルの首都・リスボンで撮影したものだという。様々な偶然はあったものの、鹿毛氏は「⑩ポルトガルが呼んだ」と表現した。

こうしてエステーは「一抜け」をし、その後多くの企業も続々と通常のCMを流すようになる。そしてYエステーのCMは「震災後コミュニケーションの代表例」ととらえられるようになった。それは次のような展開を見せたからだ。

ネット上ではCMに登場したポルトガルの少年・ミゲルをマネし、「ラーラーラー」と歌う人が続出していた。動画サイトに様々なバージョンの歌が公開されるほか、ミゲルの画像を加工する人も登場、⑪これに対し鹿毛氏や同社は一切著作権等の権利違反を主張することもなければ、むしろ話題にしてみらっていることを喜ぶツイートを繰り返したのだった。

これは完全に「ネットの論理」に企業人が合わせている。ネットで企業が人気者になったり、良い交流をするにはこの姿勢が必要なのだ。原則論ではこうした投稿は「注7」著作権法違反だろう。だが、こうした動画がネット上に上がることを「⑫是」とし、むしろ感謝する姿勢は多くの「注8」ネットユーザーの共感を得た。

別にネットユーザーが勝手しうほうだいすることを許せ、と言ってるわけではない。悪意がない場合には、一緒に楽しむくらいの姿勢を見せた方が後々トクをするということだ。悪意がある場合は、無視すべきだし、ブロックをしても構わない。名誉「注9」毀損がなされたのであれば訴えてしまっても良い。これもネット上の作法である。企業だからこういったことをしてはいけないということではない。

こうしてツイッターの「注10」フォロワーを数千人エキほで増やした鹿毛氏の元に、とあるメッセージが送られてきた。ここから同氏はソーシャルメディア上の交流を活性化させ、⑬仕事につなげていくのだ。

メッセージを送ってきたのはミュージシャン・T・M・レボリユーシヨンこと西川貴教のファン。西川が「消臭力」の歌を舞台裏でコピーしたとツイッターにつぶやいたことを鹿毛氏に知らせたのだ。鹿毛氏はすぐに西川本人にツイッターで連絡を取る。西川は「え！CMの依頼ならいつでも待ってます！」と返事を出す。2人の交流は始まり、その後鹿毛氏はライブで西川の楽屋を訪れ、西川の出演が決定。千葉県で行われた西川のライブの特別ゲストとしてミゲルが登場し、そのときの模様が「夢の共演」篇と題された1分間CMとなった。この一連のCMは2011年8月度のオコウカンドランキング2位を獲得する。

このような状況になればフォロワー数50万人を超える西川のファンにとってもエスター鹿毛氏は「仲間」となる。その後はお笑い芸人のなだぎ武も消臭力の歌が好きなことをツイッターで明かし、鹿毛氏はなだぎとミゲルの共演CMを作るに至る。

2011年のCM開始以来、消臭力の売り上げは絶好調で、売り上げでライバル企業の商品を抜き、1位になったこともあると鹿毛氏は語っていた。もちろん最初のCMのできればよく、多くの人に響いたことがヒットの原因なのは間違いない。だが、鹿毛氏が積極的にネットニュースの取材を受け、自らも情報を積極的に発信し、『会社員がこんなことしてもいいのかな……』と迷うことなく西川やなだぎ、そして西川のファンとも交流したことにより、消臭力現象ともいえるものが発生したのだ。組織人としての立場はありながらも、ネットの人に対して人間味あふれる姿を見せ真摯に対応してきた。これが今の人気につながっていくのである。

こうした、⑭ネット上の人々の特徴を押さえた上で、企業はキャンペーンをやるべきだし、広告活動を展開すべきである。一般の人が思っていることは「自分がトクしたい」ということであり、「この会社のファンになりたい」ではない。2011年以降、様々な企業がフェイスブックでキャンペーンを展開したが、多くは「注11」「いいね！」を押すとそのキャンペーンに参加したことになり、その時は一度その公式ファンページに行く。だが、その後継続的に行くにはやはり常に面白い・役立つ情報が発信されるような「注12」インセンティブが必要だろう。

ある企業が、高い金を払ってフェイスブックのファンページを「注13」外注し、「いいね！」やフォロワーが増えずに担当者（こま）は困ってしまうという事態が容易に想像できる。「まずい、上司に報告できないよ……、どうしよう」と。

当初は「ユーザーとコミュニケーションを取りたい」と考えていたのに、力不足と運不足とカネ不足のため、コミュニケーションを取るどころか注目してくれる人も少ない。そりやそうだ。こうした「注14」ソーシャルメディアの運用は「とりあえずやる」ことが目的で、コミュニケーションを取ろうと考えているわけでもない。それで見せかけだけの結果を出そうと（実体のない）フォロワー（を）購入（する）サービスに走ってしまったりするのである。

D **かくして** 今日もしョーシャルメディアの運用に頭を悩ませる企業の人々が日本中で **⑮** **一** ……と嘆いているのである。

なにせ、ネット上のコンテンツは日々増加しているため、見られる可能性はより少なくなっているのだ。人間の時間は有限なのだから、もはやネットの世界はあまりにも激しすぎるクリック競争社会である。そんな猛烈に激しい場所に**カさん**にゆうしているわけなので、「注15」コストパフォーマンスの観点からも、ムリしてソーシャルメディアを使った取り組みをしなくても良いのだ。

〔注1〕 執行役員…会社の業務を行うにあたって責任と権限を持つ役員。

〔注2〕 不祥事…社会的なイメージや信頼を損なわせるできごと。

〔注3〕 出稿…広告を出す。

〔注4〕 ツイッター…インターネット上の短文(＝ツイート)発信交流ウェブサイト。

〔注5〕 ログ…文字を装飾したもの。

〔注6〕 サウンドロゴ…会社名・商品名などにメロディーなどをつけたもの。

〔注7〕 著作権…自らの思いや考えを創作的に表現したものについて、自ら支配をおよぼすことのできる権利。

〔注8〕 ネットユーザー…インターネット利用者。

〔注9〕 毀損…こわし、きずつける。

〔注10〕 フォロワー…ツイッター上である人のツイートを継続的に講読する人(の数)。

〔注11〕 「いいね!」…インターネット上の交流サイト、フェイスブックで人物や企業、商品やものごとへの共感を示すためのボタン。

〔注12〕 インセンティブ…みかえり。

〔注13〕 外注…自分の会社の仕事を他の会社に依頼する。

〔注14〕 ソーシャルメディア…ツイッターやフェイスブックなど文章や写真や動画を発信、共有して交流をはかるウェブサイトの総称。

〔注15〕 コストパフォーマンス…かけたお金に対する効果。

(一) 太字部アゝカのひらがなを漢字に直しなさい。

ア しやうん イ どうし ウ ほうだい エ きぼ オ こうかんど カ さんにゆう

(二) 太字部AゝDの言葉の意味として最も適切なものをそれぞれ次のアゝエの中から一つ選びなさい。

A 「売らんかな」 (ア 何としても売ろう イ 売ったらどうだろう ウ 売らないでおう エ 売ただろうか)

B 「日和見」 (ア 天候に左右される イ 周囲の状況に左右される ウ 決断のできない エ 何事を決めるのもためらう)

C 「偽善だ」 (ア よく見えたとしても見せかけだ イ よく見せることは悪いことだ ウ よいことだ エ 嘘をついている)

D 「かくして」 (ア したがって イ だから ウ こうして エ よって)

(三) 傍線部①「泣く泣くの「横並び大自粛」」とあるがどういふことか、次のア～エの中から最も適切なものを一つ選び記号で答えなさい。

ア 災害という不祥事を起こしたので、全く本意ではなかったが、自社のCMを流すのを中止したということ。

イ 地震や原発事故など深刻な大災害が起きたので、被害を受けた人に同情して、広告宣伝を一時的にやめたということ。

ウ 本当は自社のCMを流したかったが、他社も流していなかったので中止せざるをえなかったということ。

エ 本来そのようなことはしたくなかったが、社会から受け入れられそうになかったので、CMを流さなかったということ。

(四) 空欄②③には同じことばが入る、次のア～オの中から最も適切なものを一つ選び記号で答えなさい。

ア 無慈悲　イ 無感情　ウ 不合理　エ 不格好　オ 不謹慎

(五) 傍線部④「通常運転」とあるが、具体的にはどのようなことをさすか、次のア～クの中から適切なものを三つ選び記号で答えなさい。

ア 東北の食材を食べること

イ 被災地で消費をすること

ウ ACのCMを流すこと

エ 一般CMの自粛を続けること

オ ACのCMを減らすこと

カ 一般CMを普通に流すこと

キ 一般CMを減らすこと

ク 一般CMの自粛をやめること

(六) 傍線部⑤「同社のスローガンである「空気をかえよう」の文字が出た」とあるが、このことの意味として不適切なものを次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

ア 商品の内容だけでなく会社の姿勢・考え方を示すものでもあるコマースシャルが久しぶりに復活した。

イ 震災で誰もがうわついた気分になっていたが、このような落ち着いた呼びかけが人々の心をしずめた。

ウ 大きな悲劇が起こり、世間全体の落ち込んだ気分を少しでも元に戻したいという会社の思いも示した。

エ 普段と変わらない会社の考えを示すことで、普段通りの生活を人々が送るべきだという思いを示した。

(七) 傍線部⑥「「ホッとした」という反応も多かった」とあるが、それはなぜだと考えられるか、次のア～エの中から不適切なものを一つ選び記号で答えなさい。

ア いつまでも震災の報道ばかり見たくないと考えていたから。

イ 元に戻ったCMを見て自分達も元に戻っていくように感じたから。

ウ 消費を贅沢だとして許さない空気に息苦しさを感じていたから。

エ なにやら悲しげなCMだったが深刻な内容ではなかったから。

(八) 傍線部⑦「内容もど真ん中ではなく、はずさなくちやいけない」とあるがどういふことか、次のア～エの中から最も適切なものを一つ選び記号で答えなさい。

ア 商品そのものの姿を見せてはならないが、商品の魅力は訴えていかなければならない、ということ。

イ 商品そのものの性能を正面から語らずに、商品の印象を残していかなければならない、ということ。

ウ 震災に対するメッセージを正面から発することなく、被災者に対するメッセージを送らねばならない、ということ。

エ 商品そのものの機能を示すのではなく、被災者に対するメッセージを送っていかなければならない、ということ。

(九) 空欄⑧⑨に入る表現として最も適切なものを次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び記号で答えなさい。

ア 被災者頑張れ、ニッポン頑張れ！ イ 震災のことは完全に忘れよう ウ 日常生活に戻ろうよ エ 震災について考えようよ

(十) 傍線部⑩「ポルトガルが呼んだ」とあるがどういふことか、次のア～エの中から最も適切なものを一つ選び記号で答えなさい。

ア 津波を含む震災で傷ついた日本人をいやそうと、ポルトガル人がCM撮影の場所を提供してくれた、ということ。

イ 津波から立ち直ったリスボンで撮影することにより、震災に対するメッセージも発することができた、ということ。

ウ リスボンで撮影したCMで、結果的に震災へのメッセージを発することができ、その偶然に感慨を深くしたということ。

エ 震災から立ち直っていくためのCMを撮影しようと場所を探していたら、偶然にもリスボンでの撮影が決まった、ということ。

(十一) 傍線部⑪「これに対し鹿毛氏や同社は一切著作権等の権利違反を主張することもなければ、むしろ話題にしていることを喜ぶ

ツイートを繰り返したのだった。」とあるが、この理由として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

ア 商品が話題になることで商品の名が世間に知れ渡り、結果的に商品が売れることにつながっていくと考えていたから。

イ CMで歌われる歌には著作権が存在しないので、著作権を主張しても仕方がないとあきらめていたから。

ウ 被災地の復興を進めることを最優先して作られたCMが広まることで、被災者たちが救われると考えていたから。

エ CMで会社の人気が出ることは、会社のファンになりたいという、ネットの人々の欲求にかなうものであったから。

(十二) 傍線部⑫「是」とあるが、これと反対の意味を持つ一字の漢字を書きなさい。

(十三) 傍線部⑬「仕事につなげていく」とあるが、この場合の「仕事」とは何をさすか、次のア～エの中から適切なものを二つ選び記号で答

えなさい。

ア ソーシャルメディアでの交流を楽しむこと イ 芸能人とつながりを持つこと ウ 「消臭力」の認知度を上げること

エ 「消臭力」の新CMを制作すること オ ミュージシャンとライブで共演すること カ CMのパロディ動画を歓迎すること

(十四) 傍線部④「ネット上の人々の特徴」とあるが、その内容として不適切なものを次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

ア ソーシャルメディアにおける企業の発信に魅力を感じ、その企業のファンになってしまふ人々。

イ 直接顔を知らない人々と交流する中で、何か面白いことが起こることに期待している人々。

ウ インターネットにおける他の人々との交流の中で、自分が何かトクをしたいと考えている人々。

エ 面白い情報、あるいは役立つ情報をインターネットを手に入れたいと希望している人々。

(十五) 空欄⑤に入る表現として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

ア コミュニケーションなどとても無駄だ イ どうしよう、どうしよう

ウ しかたない、しかたない エ こんなことになってしまつて申し訳ない

(十六) 二重傍線部X「ネットの論理を理解し、そこでの情報発信に精通したサラリーマンがいる。それは生活日用品メーカー、エステー株式会社特命宣伝部長の鹿毛康司氏である。」とあるが、筆者の「鹿毛康司氏」に対する評価として適切なものを次のア～エの中から二つ選び記号で答えなさい。

ア 事前に緻密に組み立てた計画通りにことをすすめ、それを完全に実現させていく実行力のある人物である。

イ 自分のいるべき領域をきちんと認識した上で、多くのことには手を広げず、着実に役割を果たしていく人物である。

ウ インターネットやソーシャルメディアの特性をきちんと理解しつつも、それらに流されない強い意志を持った人物である。

エ 自分が面白い、今やりたいと思ったことをためらうことなく行う、柔軟で自由な発想を持った人物である。

オ 組織に属していることを忘れ、自分が個人としてやりたいことだけを追求していくタイプの天才肌の人物である。

カ 会社員としての自分と、個人としての自分のそれぞれの希望を、インターネットやソーシャルメディアを利用して実現する人物である。

(十七) 二重傍線部Y「エステーのCMは「震災後コミュニケーションの代表例」ととらえられるようになった。」とあるが、筆者の「エステー」の「消臭力」のCMをめぐる経緯に対する評価として適切なものを次のア～エの中から二つ選び記号で答えなさい。

ア 会社側が、ソーシャルメディアを使ってインターネット上での交流を楽しんだことが、商品の売り上げアップという成功につながった。

イ 宣伝部長である鹿毛氏が、芸能人達とためらうことなく交流したことが、自社CMへの彼らの出演につながっていった。

ウ 震災後であることを十分に理解し、被災者の感情に最大限配慮し、震災をいつまでも忘れるなと訴えかけたことがよい印象を与えた。

エ 社会全体の雰囲気沈んでいた中で、過剰に自粛することは無意味だということを示すため、ソーシャルメディアを利用した。

オ キャンペーンを仕事として行うのではなく、遊びとして行うことで、当初の意図になかった「消臭力」のイメージアップにつながった。

カ CMをめぐるたくさんの人間関係が新たに生まれることで、震災によって分断されていた人々の心が一体化し、社会が明るくなった。

【問題は以上で終わります】

① (60)

- (一) ア 誤植 イ 意欲 ウ 異議 エ 察知 オ 混乱 カ 異動 キ 実務 【①×7＝7】
 (二) C、D 【②×2＝2】
 (三) ア(4) イ(1) ウ(3) エ(1) オ(2) 【②×5＝10】
 (四) α 目 β 耳 (順不同、完答) (五) イ (六) オ 【④×3＝12】
 (七) 5 ウ 6 イ 8 ア 【③×3＝9】
 (八) ア (九) エ 【④×2＝8】
 (十) エ 【6】
 (十一) 五里(霧) 中 【4】

② (60)

- (一) ア 社運 イ 同士 ウ 放題 エ 規模 オ 好感度 カ 参入 (二) A ア B イ C ア D ウ 【①×10＝10】
 (三) ウ 【3】 (四) オ 【2】
 (五) オ、カ、ク 【①×3＝3】
 (六) イ (七) ア (八) イ 【③×3＝9】
 (九) ⑧ ア ⑨ ウ 【②×2＝4】
 (十) エ (十一) ア 【③×2＝6】
 (十二) 非 【2】
 (十三) ウ、エ 【②×2＝4】
 (十四) ア 【3】 (十五) イ 【2】
 (十六) エ、カ (十七) ア、イ 【③×4＝12】